

コラム⑤ 精神障害者の退院促進に向けた実践（国分寺市の取組）

東京都自立支援協議会では、地域自立支援協議会間のつながりをつくり、先進的な取組を共有することで、協議会活動の活性化をはかることを目的に、令和5年度から新たに、「自立支援協議会担当者連絡会」（以下、「連絡会」といいます。）を、8月と10月の2回にわたり開催しました。

Webでの開催でしたが、その分コラム④で取り上げた交流会への参加が難しかった、島しょなど遠隔地からのご参加いただく機会となりました。この連絡会では、基調講演で関連の話題を取り上げたほか、令和4年度の「東京都内の自立支援協議会の動向」に掲載された先進事例等もご報告いただきました。ここでは、第1回・第2回とも発表していただきました国分寺市の取組の一部を紹介します。

国分寺市障害者地域自立支援協議会では、精神保健福祉部会の作業部会が、近隣の病院を、看護部・医療相談室・作業療法室など部門毎に訪問し、地域移行について協議を重ね、社会資源の映像資料を作成し、病院内の活動で使用してもらうことになりました。

令和5年度末時点では、すでに退院意欲喚起のためのツールとして、グループホームを紹介する、次の2つの動画が完成し、ホームページで公開しています。

- ・「グループホームの種類について～寮タイプ、アパートタイプ、一軒家タイプ～」
- ・「グループホームでの生活ってどんな感じ？～グループホームでの1日～」

(<https://kokubunji-kikan-towaple.com/about/youtube/>)

実際の地域での暮らしをイメージしやすい内容で、入院患者の方への意欲喚起だけではなく、病院で勤務している職員に対しても、退院支援意欲を喚起するツールになっているという報告もありました。

連絡会では、今後も地域自立支援協議会の先進的な取組を紹介していきます。これまで参加することの少なかった地域自立支援協議会の皆さんも、是非、ご一緒にしましょう。

国分寺市障害者基幹相談支援センターHPより

